



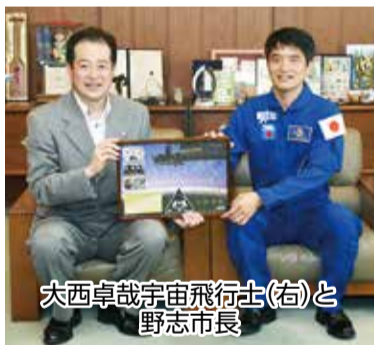
宇宙を体感! 夢ひろがる!



国内最大の宇宙国際会議
松山で初開催



6月3～9日の7日間にわたり開催された「第31回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)愛媛・松山大会」。大西卓哉宇宙飛行士の講演会をはじめ、水素ロケット実験教室や「宇宙×俳句」イベント、JAXAや宇宙・航空分野の企業による最先端技術を紹介するブース、「えひめ×宇宙」絵画コンクールや宇宙短歌・俳句コンクールの受賞作品の展示などさまざまな催しが行われ、7日間で約1万人の入場者が訪れ、大いににぎわいました。



大西卓哉宇宙飛行士(右)と野志市長

「第31回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)愛媛・松山大会」での講演会に合わせ6月5日、平成28年10月に国際宇宙ステーションから地球に帰還した大西卓哉宇宙飛行士が野志市長を訪問しました。

大西さんは、父親が本市出身で子どもころからよく本市を訪れており、ANAのパイロット時代のラストフライトで松山へ羽田便を担当するなどの、深い縁があります。野志市長に松山の印象を聞かれた大西さんは「昔から変わらないうちの良さがあり、のんびりした人柄と風土が松山を作っていると感じます。東京のような大都市とは違った魅力を持っているので、これからその特長を生かしたまちづくりを進めてほしいと思います」と笑顔で話しました。



笑顔で歓談の様子



滞在中の体験を話す大西卓哉宇宙飛行士

「115日間の宇宙滞在を終えて」をテーマに6月4日、大西卓哉宇宙飛行士による講演会がひ

めぎんホール(道後町二丁目)サブホールで開催されました。

大西さんは集まった約900人の入場者の前で、宇宙ステーション滞在中の生活や訓練、実験の様子などを紹介。また「最も印象に残った任務は何か」、「地球外生命体はいると思うか」、「宇宙は怖くなかったか」などといった質問に体験談をもとに丁寧に答え、「宇宙飛行士になりたい」という子どもたちにもエールを送りました。

大西卓哉宇宙飛行士講演会

「115日間の宇宙滞在を終えて」

大西卓哉宇宙飛行士が市長を訪問しました

次の世代の子どもたちが科学に興味を持ってほしい



大西卓哉宇宙飛行士 提供: JAXA

子どもたちのキラキラした笑顔を見ることができてよかったです。苦労した経験が自分を成長させてくれたので、皆さんも「苦手なこと」にも一生懸命取り組んでほしいと思います。そして、宇宙には夢があります。次の世代の子どもたちが科学に興味を持ち、日本の科学技術を底上げしてほしいです。

いつか宇宙に行ってみよう



(左から)渡邊 有紗さん、中矢 遥人くん、中矢 和希くん、渡邊 寿菜さん

水素ロケット実験教室やVR(バーチャル・リアリティ)体験などもあって、とても楽しく勉強にもなりました。いつか私たちも宇宙に行つて無重力を体験してみたいです。

企画戦略課 ☎ 948 6213
FAX 934 1804